Power Droste ユーザーマニュアル

version 1.00 © 2023 CROSSPHERE

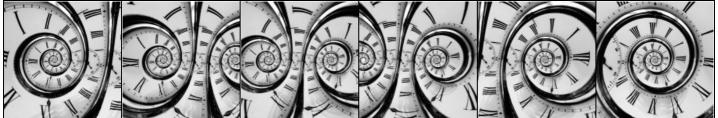
概要

Power DrosteはAdobe After Effects®のエフェクトプラグインです。

このプラグインを利用することにより、入力レイヤーをらせん状に変形し、無限に続く渦のような表現、いわゆるドロステ効果を表現することが可能です。







また、らせんをほどくような変形(unroll)も可能です。



複数の<u>腕(strand)をコントロールし、</u>個別にテクスチャーを設定することも可能です。



応用例として、極座標変形と組み合わせることで、吸い込まれるような表現になります。



対応プラットフォーム

Adobe After Effects (Windows版及び macOS版,Apple Silicon対応) CS6以降 8bpc, 16bpc, 32bpc各モード、及びマルチフレームレンダリングに対応しています。

インストール

aescripts + aeplugins manager appを使うとインストールとライセンス登録を楽に行うことが出来ます。 aescripts + aeplugins manager appは以下からダウンロードしてください。 https://aescripts.com/learn/aescripts-aeplugins-manager-app/

手動でインストールするには、プラグインを After Effects のプラグインフォルダに置いてください。 デフォルトのプラグインフォルダは、例えば以下のようになります:

(OS Windows, After Effects 20XX)

 $C:\label{lem:condition} C:\label{lem:condition} Plug-ins Tiles \land Adobe \ After \ Effects \ 20XX \land Support \ Files \land Plug-ins \ Adobe \ Adobe \ After \ Effects \ 20XX \land Support \ Files \land Plug-ins \ Adobe \$

(macOS, After Effects 20XX)

/Applications/Adobe After Effects 20XX/Plug-ins

EffectメニューのCROSSPHEREカテゴリーに"Power Droste"が追加されます。

パラメーター



パラメーターUI

渦の基本設定

Spiral Center

渦の中央の位置を決めます。

Pivot

渦を固定する位置を決めます。 他のパラメーターがデフォルトの場合、Spiral Centerから、Pivotの方向に、Inner Radius進んだ位置がこのプラグインの適応前後で変化しない位置になります。

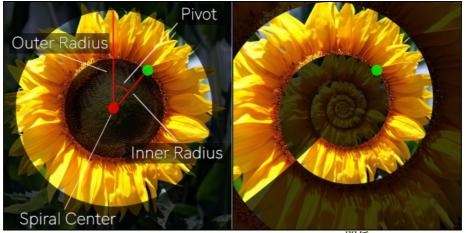
また、この位置は後述するUnrollによる変形で、変化しない位置です。

Inner Radius

渦に使う入力画像の、内側の半径を指定します。

Outer Radius

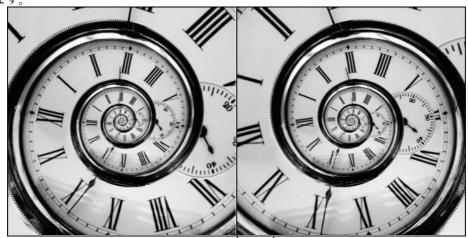
渦に使う入力画像の、外側の半径を指定します。



Spiral Center, Pivot, Inner Radius, Outer Radiusの関係 左右の図両方にある緑色の点の位置は、プラグイン適応前後で変化しない

Flip Spiral

渦の方向を反転させます



Flip Spiral 左:off, 右:on

Rendering Mode

レンダリングモードを、LevelsとStrandsの2つから指定します。 Levelsは、入力レイヤー全体を渦に従って歪ませ、重ねるモードです。 Strandsは、入力レイヤーの内、Spiral Center, Inner Radius, Outer Radiusで指定された範囲を切り出し、 渦状に変形させ、張り合わ せるモードです



Inside Front

オンにすることで、内側の構造を手前にすることができます。



Inside Front 左:off, 右:on

Transform



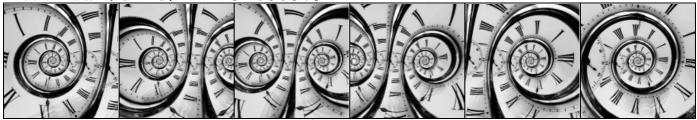
Position X, Position Y, Scale, Rotation

それぞれ出力画像の水平位置、垂直位置、拡大縮小、回転を指定します。

3D Rotation Radius, 3D Rotation X, 3D Rotation Y, 3D Rotation Z

出力画像を球面にマッピングし、擬似的な3次元回転変形をなします。

3D Rotation Radiusが小さいほど、パースがきつくなります。



3D Rotation Y 左から30, 60, 90, 120, 150, 180

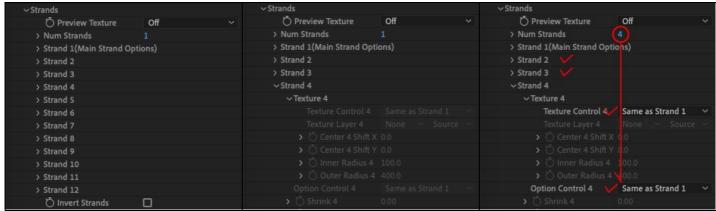
Unroll

Unrollの値を上げることで、らせんをほどくような変形が可能です。



Unroll 左から0, 0.2, 0.4, 0.6, 0.8, 1

Strands



Strands とStrandのパラメーターUI

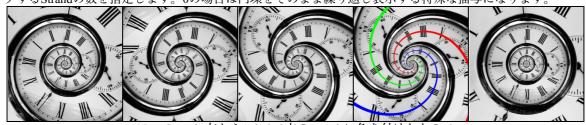
Num Strandsの値以下のStrandのパラメーターコントロール項目が有効化されます。

Preview Texture

テクスチャーが設定されている場合、テクスチャーを指定することで、そのテクスチャーのプレビューが可能です。

Num Strands

レンダリングするStrandの数を指定します。0の場合は円環をそのまま繰り返し表示する特殊な描写になります。

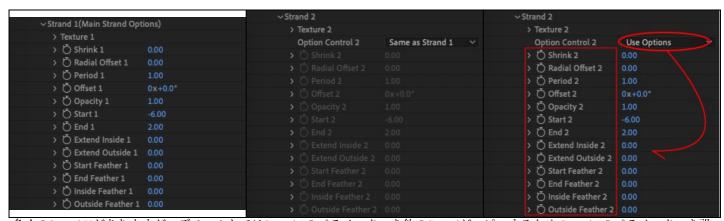


Num Strands 左から1, 2, 3, 3本のstrandsに色を付けたもの, 0

Invert Strands

Strandの重なりを逆転させます。

Strand X (X=1~12)の設定



多くのStrand Xがありますが、デフォルトではStrand 1のパラメーターを他のStrandがコピーするため Strand 1のパラメーターを設定すれば他のStrandに反映されます。

各Strand X (X≥2) のOption Control XをUse Optionsに設定すれば、Strand Xのパラメーターが有効化されます。

Option Control X (X≥2)

Strandのオプションを、個別に設定するか、他のStrand X'(X'< X)からコピーするかを選びます。

Shrink X, Radial Offset X

Strandを、動径方向に拡大縮小及びずらします。

Period X, Offset X

Strandを、角度方向に拡大縮小及びずらします。

Num Strands = 0 の場合は特殊で、Strand 1のOffset 1とStrand 2のOffset 2を使い、 全体のオフセットとStrandごとのズレを設定できます。

Opacity X

Strandの透明度を設定します。

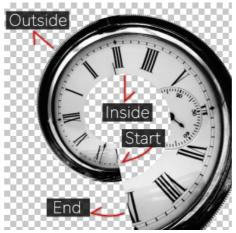
Start X, End X, Extend Inside X, Extend Outside X

Strandを各方向に伸ばしたり縮めたりします。

Rendering ModeがLevelsの場合、Start XとEnd Xの値が離れていると、レンダリングに時間がかかるようになる場合があります。Rendering ModeがLevelsの場合、Extend Inside X及びExtend Outside Xは使えません。

Rendering ModeがStrandsの場合、Extend Inside X及びExtend Outside Xの値を増やすと、レンダリングに時間がかかるようになります。

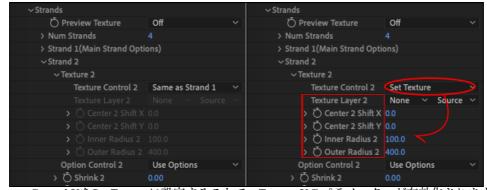
Rendering ModeがStrandsの場合で、Start Xを最小値にした場合、または、End Xを最大値にした場合、それぞれの方向への制限が取り払われます。



Start Feather X, End Feather X, Inside Feather X, Outside Feather X

Strandの各方向のフェザリング、つまり透明度でのグラデーションを設定します。 Rendering ModeがLevelsの場合、Inside Feather X及びOutside Feather Xは使えません。

Texture X (X=1~12)



Texture Control XをSet Textureに設定することで、Texture Xのパラメーターが有効化されます。

Texture Control X

Strand Xのテクスチャーを指定します。 Input Layer:入力レイヤーをテクスチャーとして使います。 Set Texture:以下のパラメーターを使い、個別にテクスチャーを指定します。 Same as Strand X':Xより小さい番号X'のStrandと同じテクスチャー設定を使います。

Texture Layer X

Texture ControlがSet Textureの場合、どのレイヤーをテクスチャーに使うかを指定します。

Center X Shift X, Center X Shift Y

テクスチャーにレイヤーが指定された場合、その中心はレイヤーの中央になります。 Center X Shit XとCenter X Shift Yにより中央をレイヤー中心からずらすことができます。

Inner Radius X, Outer Radius X

テクスチャーとして利用する円環領域の内側と外側の半径を指定します。

以上の設定は、Preview TextureでTextureを指定することで確認することができます。



その他のオプション



Antialias

アンチエイリアスの品質を指定します。

Extra

追加変形オプションです。

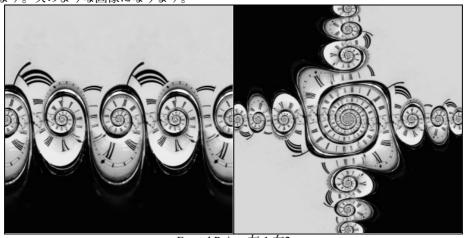
Hyper Droste, Hyper Droste Scale, Hyper Droste Amplitude

Hyper Drosteを設定します。次のような画像になります。



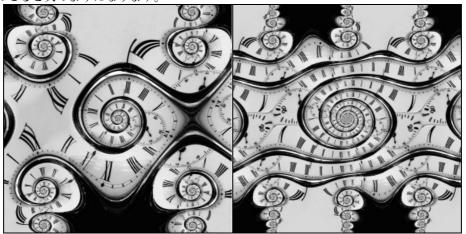
Fractal Points, Fractal Points Scale, Fractal Points Amplitude

Fractal Pointsを設定します。次のような画像になります。



Fractal Points 左:1,右2

Hyper Drosteと組み合わせると次のようになります。



Hyper Droste:on, Fractal Points 左:1,右2

更新履歴

2023 1月 version 1.00 リリース

著者

Koizumi

メールアドレス: koizumim83@gmail.com aescripts + plugins 内ページ: https://aescripts.com/authors/crossphere/

画像提供

https://www.photo-ac.com/main/detail/24648867

https://pixabay.com/photos/2306471/

https://pixabay.com/photos/4354466/

https://pixabay.com/photos/2297210/

https://pixabay.com/photos/3540266/

https://pixabay.com/photos/427187/